

逆境下の成長戦略

◇ 2 ◇

ポラテック（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）のプレカット事業はコロナ禍でも堅調だ。北大路康信専務は「8月度は全体として絶好調で、9月以降の受注も好調だ」と語り、「同業他社からはうそを言っていないのではないかと言われそうだ」と話す。

同社はプレカット最住宅も5〜8月の4カ大手で、全国5工場、月連続で前年比プラの加工能力は月間17万ス。これだけの規模で5000坪。実際の加取引先がすべて好調と実績でも12万坪を超いうのはあり得るのえる月もあり、圧倒的か。前年比で10%以上な存在感がある。

東京都内の分譲系ヒ業他社も珍しくないなルターなど好調な住宅かで断トツの実績だ。会社を得意先に持ち、コロナ禍は、工場従グループの戸建て分譲業員の求人、トラック

ポラテック

8月度も好調な受注

分譲住宅中心に確保

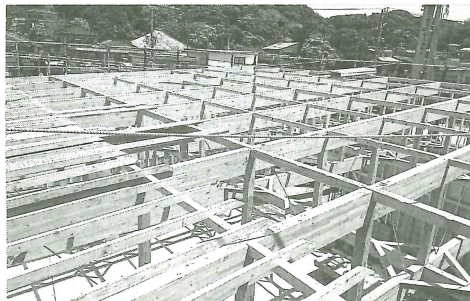
の確保などの面では有利に働き、木材市況の低迷も仕入れには好都合だ。今後、北米の2×4ランバーの高騰が日本の2×4住宅のコストにも影響を与えてくると、木造軸組工法プレカットにはさらに有利に働く可能性もある。

「与信」「損をして売るな」というシンプルなるルールの下、営業の裁量の範囲で積極的に販売している。

2018年、フィンランドに開設したヘルシンキ事務所が仕入れ面での情報力を高め、競争力強化につながっているという。

コロナ禍で一時在宅勤務を増やしてきた

非住宅に力を入れている。オリジナルのポルトラスで大スパン対応



が、猛暑を受けて全工場に送風機を導入。労働環境の改善に努めている。

年初から非住宅受注が落ち込んでいたものの、これも改善の兆しが表れてきたという。

JAS構造材利用拡大事業など補助金にかかわる仕事も出始め、非住宅分野でもばん回を

が、今は週2日を上限目指す。

に在宅勤務を実施し、8月26日時点で9月4人以上の打ち合わせを禁止。出張は自粛し、棟、10月度2440訪問営業も抑制気味棟、11月度も248棟だ。夜の会食、接待は入っており、これらが禁止というなかで通常少しづつ後ろにずれ込の業務ができています。んでいくことになりそうです。

求人環境は好転したうだ。